

■基調講演「SDGs の時代：誰一人取り残さないための、小児保健の役割」

座長：坂本 昌彦（佐久総合病院小児科兼国際保健医療科）

演者：高橋 謙造（帝京大学大学院公衆衛生学研究科）

■一般口演

座長：田中 孝明（川崎医科大学小児科学教室）

1. バングラデシュ農村の 10 代小児・青年の境界型糖尿病の危険因子の調査  
竹内 治子（東京大学大学院医学系研究科国際地域保健学）
2. ベナンの早産児の栄養状態に影響する要因  
長堀 智香子（つくば国際大学）
3. 地方の医療機関におけるインバウンド受診者への対応と課題  
坂本 昌彦（佐久総合病院小児科兼国際保健医療科）
4. マダガスカル国、アンチラベ地区における補完食と発育阻害の関連性の検討  
林 みずき（帝京大学大学院公衆衛生学研究科）
5. マラウイにおける子供の栄養不良と食の安全保障  
浦部 大策（聖マリア病院 国際事業部）
6. 食の多様性が栄養障害に与える影響 マラウイの事例  
足立 基（聖マリア病院 国際事業部）

■総合シンポジウム「子どもの権利条約：生存、発達、保護、参加という 4 つの要因」

座長：浦部 大策（聖マリア病院国際事業部）

1. 生存：アフリカの子供達の命をいかに守っていくか？  
足立 基（聖マリア病院 国際事業部）
2. 発達：途上国の障害児支援の現状と課題  
神谷 保彦（長崎大学熱帯医学グローバルヘルス研究科）
3. 保護：バングラデシュにおける児童労働の現状  
日下部 尚徳（東京外国語大学世界言語社会教育センター）
4. 参加：被災地と子どもの遊び  
高井 明子（公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン）